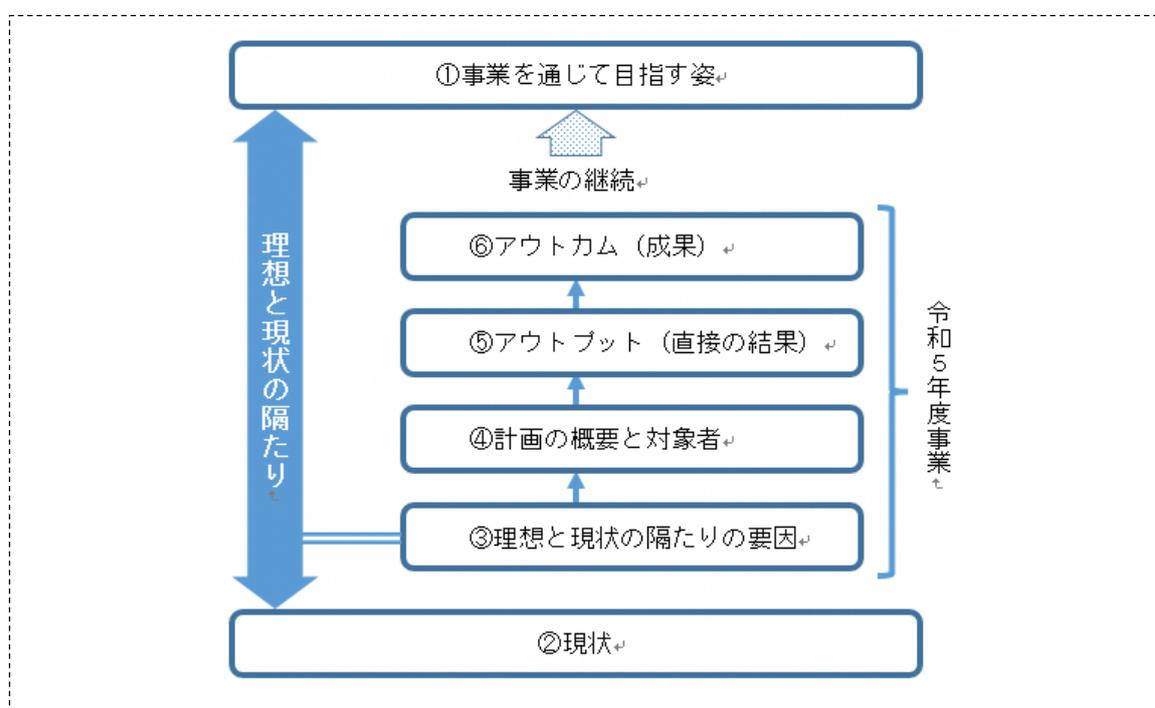


事業計画書

事業名	住民主体の倉敷市イベント情報発信「市民レポーター」事業
団体名	一般社団法人はれとこ

記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

イベントなど街の取り組みを、住民(学生を含む)の視点で伝えることで、住民と観光客が対立軸ではなく、「倉敷を楽しんだり好きになったりする仲間」となる社会を目指す。そのハブとなる媒体として地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ」を活用し、今後2年以内に、倉敷市民によるイベントレポートが、月に5本以上公開されている状態としたい。

イベントレポートの対象は、ハートランド倉敷のように一般的に連想される「観光イベント」だけではなく、地域のお祭り、町内会・学校などが行う行事も含む。

また、レポート記事として開催済のイベント情報を発信すると同時に、倉敷市・社会福祉協議会・商工会議所・NPO 団体などが行うイベントの情報を事前に収集する仕組みを構築し、市民レポーターにその情報を共有するのはもちろんのこと、一般市民向けにもその情報を公開することで情報の利活用を促進する。

2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

- ・ 地域に関する情報発信のメインは観光情報で、観光は域外の人向けの施策であり、住民は「自分たちには関係ないもの」と認識している
- ・ 倉敷市観光課として様々な情報発信を行っているが、行政目線の側面が強く行動の契機に繋がる「口コミ」的な情報発信は不足している
- ・ 地域のイベント、取り組みは、外部にあまり発信されず、担い手不足という課題も発生している
- ・ 観光イベントなど特定分野に特化した情報サイトは多数存在するが、様々な分野のイベント情報を横串で紹介しているのは「広報くらしき」以外ほぼ存在しない

アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月4回, 各回20名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成, 800人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週2回, 各回15名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回, 各回5名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット(直接の結果)

令和5年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

1. 記事作成スキルを学ぶセミナーを実施
2. セミナー受講生がレポーターとなりイベント、および倉敷市観光課の取り組みを紹介する記事を執筆する仕組み作り
3. レポーター、および一般市民に様々な分野のイベント情報を知ってもらう仕組み作り

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
・セミナーの参加申込者数	46人	100人
・倉敷市民のレポーター数	13人	30人
・レポーターの記事投稿数	3本(月)	5本(月)
・情報提供団体の数	0団体	3団体

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

各取り組みを実施する毎に、参加者数や記事の投稿数、情報提供団体数を数える。

6 アウトカム(成果)

上記5のアウトプットが、令和5年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

- ・ 倉敷市民による、イベント情報の発信数が増える
- ・ 地域の発信に市民が関わってもよいと感じる人が増える
- ・ 倉敷に愛着をもって、「倉敷のアンバサダー」のように活動する市民が増える
- ・ 倉敷市、社会福祉協議会など地域に深く関わる団体から情報提供を受け、より多くの市民が街の取り組みを知る機会が増える

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容, 対象者, 実施期間, 実施場所, ねらいなど, できるだけ明確に記入してください。

<記事作成スキルを学ぶセミナーを実施>

レポート記事作成に必要な、ライティング・撮影スキル・入稿方法を学ぶ全3回のセミナーを開催し、スキル・仕事の進め方に不安をもつ市民に理解を促す。

令和4年度版の課題なども反映したアップデート版とし、令和5年度はリアルタイムのセミナーではなく、完全収録のセミナーとして開催することで、動画のクオリティアップを図る。

このため、受講者・市民レポーターの交流ができなくなるが、その点は年度内に2回程度「市民レポーター交流会」を開催することで解消を目指す。

<セミナー受講生がレポーターとなりイベント、および倉敷市観光課の取り組みを紹介する記事を執筆する仕組み作り>

セミナー受講生がレポーターとなり、取材記事を作成掲載する。掲載媒体は自社メディア「倉敷とことこ」を基本とする。

レポーターとして記事を書く住民は、自身が伝えたかった・楽しかったイベントの紹介記事がメディア掲載される満足度が得られ、読者となる住民は地域活動をより多く知る機会を得ることができる。しかし、特にイベントは「行動(来場)に繋げる」ことも重要であるため、令和5年度は協働する観光課の取り組みに限定して、「イベント内容を紹介する記事(=告知記事)」を執筆する取り組みも行う。

<レポーター、および一般市民に様々な分野のイベント情報を知ってもらう仕組み作り>

令和4年度の取り組みとして、市民レポーター向けにイベント情報を提供する仕組みを構築しているが、情報提供団体に限りがある上、観光系イベントに偏る傾向がある。

このため、倉敷市、社会福祉協議会、商工会議所、NPO団体などに情報提供を持ちかけ、様々な分野で実施されるイベント情報を収集する仕組みを構築する。

この情報をまずは市民レポーター向けの情報として活用するが、同時に一般市民向けにもWebページなどに整理して公開することで、情報の利活用を促進する。

(様式第2号)

(2) スケジュール(準備～実施～報告)

4月	セミナー収録 情報提供いただく団体向けの説明資料作成
5月	令和5年度版「倉敷市民レポーター教室」の受講スタート オンデマンド受講のみ 令和4年度版を差し替える形とする
6月	情報提供の仕組み作り検討
8月	第1回市民レポーター交流会
12月	一般市民向け情報提供開始
2月	第2回市民レポーター交流会

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
戸井 健吾	• システムエンジニアの実務経験 20 年 • Web メディア運営の実務経験 21 年	無
岡本 康史	• Web メディアの運営経験 6 年 • ライティング・編集の実務経験 5 年	無
西山 博行	• Web メディア運営の実務経験 16 年 • Web ライター/Web ディレクターの実務経験 5 年 • クラウドソーシング活用/ライター育成セミナー講師 の実務経験 4 年	無
村上 智英	• システムエンジニアの実務経験 20 年 • Web メディアの運営経験 16 年 • マーケティングの実務経験 8 年	無
森田 美紀	• 観光業の実務経験 8 年 (倉敷観光コンベンショビュー ロー5年、倉敷アフタヌーンティー実行委員会3年) • ライティングの実務経験 4 年	無
10名を超える場合は、外 名としてください		外 () 名

(様式第2号)

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する(見込み： _____)

(2) 徴収しない(理由： より多くの方に関わってもらいたい仕組みとするため)

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
受益者負担			
会費からの繰入		44,000	
その他	協賛金	20,000	
市補助金		500,000	
収入合計		564,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠	
人件費(会員)※1	企画・広報活動	27,000	900円×1h×30日	
	資料作成・収録	27,000	900円×10h×3人	
交通費(会員)※1				
人件費(アルバイト等)				
謝金(講師等)				
旅費交通費(講師等)				
消耗品費				
印刷製本費	チラシ印刷	20,000	A4 両面印刷 3,000部	
通信運搬費				
保険料				
使用料・賃借料	会場使用料 ※交流会・収録	30,000		
外注費・委託費	チラシ制作	30,000		
	募集 Web ページ制作	50,000		
	イベント情報掲載ページ制作	240,000		
	動画収録・音響	80,000		20,000円×4本
	動画編集	60,000		15,000円×4本
対象経費計		564,000		
食糧費				

(様式第3号)

人件費			
その他			
対象外経費計			
支出合計		564,000	(収入合計と一致)

※1：会員に支払う人件費交通費は、**協働事業部門のみ**計上でき、その合算額は**対象経費計の1割**を上限とする。

※2：金額欄は**切り上げて千円単位**で記入する。

組織運営体制

団体名	一般社団法人はれとこ
ふりがな	いっばんしゃだんほうじんはれとこ
法人格(をつけてください)	任意団体・NPO法人・一般財団法人 <u>一般社団法人</u> ・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他()
CANPAN登録の有無	<u>有</u> ・ 無

CANPAN:日本財団及び特定非営利法人CANPANセンターが運営する、市民・NPO・企業などの活動を支援するWEBサイト
以下の項目は、CANPANに登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は、そちらを参照すると便利です。
新規チャレンジコースに申し込む団体は、**情報のある項目のみ**記入してください。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2018年 9月(西暦)
法人格取得年月	2019年 11月(西暦)
事務所所在地	
代表者	職・氏名 代表理事 戸井健吾
	電話番号
ウェブサイトURL	https://haretoco.or.jp/
活動地域	岡山県
役員数・職員数計	11名(役員 11名, 職員 0名)
設立年月	2018年 9月
活動分野 (該当に をする) (複数回答可)	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援 <u>地域・まちづくり</u> ・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画 <u>ITの推進</u> 科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・ <u>観光</u> 農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他()
活動目的 (規約等に定めるもの)	当法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。 1. ウェブ等を活用した地域の情報発信事業 2. 災害発生時の情報発信支援事業 3. ICT普及活動支援事業 4. その他当法人の目的を達成するため必要な事業

<p>設立以来の主な活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none">・地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ」、「備後とことこ」の開設・市民ライターを育成する、「市民レポーター教室」・「高梁川流域ライター塾」の運営・地域メディア事業に関する講師・社会的養護の子供向け「パソコン教室」・児童福祉施設向けの PC、スマートフォン貸与 <p><代表理事プロフィール></p> <p>1979年9月生まれ。 立命館大学産業社会学部卒業。 卒業後、18年間システムエンジニアとして、富士通・ベネッセ向けのシステム開発作業に携わる。</p> <p>独立直前の2018年7月。 平成30年7月豪雨で倉敷市真備町が被災し、岡山 NPO センターと連携し、倉敷市災害ボランティアセンターの運営に協力。ボランティアの Web 受付システムの導入を行うなど、SE 経験を活かした運営支援を行った。</p> <p>その後、被災地の情報発信の必要性を感じ、地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ」を個人事業として開始。2019年11月には、「一般社団法人はれとこ」を設立。</p> <p>地域メディア運営・ICT 普及支援活動を行う団体として、継続的な活動を行っている。</p>
<p>現在特に力を入れていること</p>	<ul style="list-style-type: none">・学校（特に高校）と協働した、地域の情報発信活動・社会的養護の子供向けに ICT 機器の貸与活動・Web メディア運営、ライティングスキルの継承を目的に開催している「市民レポーター教室」、「高梁川流域ライター塾」

2 団体概要と財政状況

<p>団体の活動・業務 (事業活動の概要)</p>	<p>【ウェブ等を活用した地域の情報発信事業】 地域の情報発信事業として、地域メディア運営とメディアで活動するライター（市民ライター）の育成を行っています。</p> <p>岡山県倉敷市を中心とした「倉敷とことこ」を中心に、複数のメディアを運営しており、今後も少しずつ新規メディアを増やしていく予定です。</p> <p>WEBメディア運営は地元のプロガー・ライターによる取材記事をメインにしており、お店の情報・価格・目玉商品など「スペック」だけでなく、関係者の方にインタビューし「人」にスポットを当てることにこだわって運営しています。</p> <p><運営メディア> 倉敷とことこ（2018年9月～）：https://kuratoco.com/ 備後とことこ（2020年9月～）：https://bintoco.com/</p> <p>また、2021年以降は自社メディアをはじめ、地域の情報発信をする「市民ライター」の育成を目的に、以下のセミナーを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・市民レポーター教室 ライターの仕事を「疑似体験」できる仕組みとして、対象地域の「イベントレポート記事」の執筆を行う市民レポーターの養成を目的とする・高梁川流域ライター塾 地域に密着し、インタビューなどの取材を通じて情報発信を行う「市民ライター」の養成を目的とする。 <p>【災害発生時の情報発信支援事業】 平時の情報発信が観光・グルメ情報を中心とした「地域メディア運営」とした場合、災害発生時など「非常時」も情報発信の担い手となることを目指しています。</p>
-------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>平成30年7月豪雨の発災時は、代表理事の戸井が倉敷市災害ボランティアセンターで、Peatixを利用した「ボランティアのWEB受付」導入支援を行いました。</p> <p>その後、社会福祉協議会、NPO法人などの運営支援をICTを通じて行いながら、災害時も連携できるような関係構築を継続しています</p> <p>【ICT普及活動支援事業】</p> <p>WEBメディア運営など、情報通信技術(ICT)を活用した事業が中心となるため、これらの普及活動としてセミナー・コミュニティ運営も行っています。</p> <p><岡山プログカレッジ・備後プロガー会> ブログなど、WEBメディア運営を目指す人向けのセミナーと交流会</p> <p><岡山スマホユーザー会> スマートフォンなど「ガジェット」好きが集まる交流会</p> <p>また、地域の福祉団体と連携し、社会的養護の子供向けにPC・スマートフォンを貸与する取り組みも行っています</p>
<p>今後の活動の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティメディア活用事例を増やして行く(学校・地域団体・企業など) ・寄付、助成金事業に依存しない、収益構造の実現(広告、受託事業の受注を増やす) ・災害発生時にすぐ活動できるよう、社会福祉協議会やNPO団体などの協働事例を増やす
<p>最新決算総額 (該当に をする)</p>	<p>100万円未満・100～500万円未満・500～1,000万円未満・1,000～5,000万円未満・5,000～1億円未満・1～5億円未満・5億円以上</p>
<p>定期刊行物</p>	

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	<ul style="list-style-type: none">● 倉敷市「令和3年度高梁川流域地域づくり連携推進事業」で、「笠岡ライター育成事業～高梁川流域ライター塾～」を開催 https://www.city.kurashiki.okayama.jp/37912.htm● 倉敷市「令和4年度高梁川流域地域づくり連携推進事業」で、「浅口ライター育成事業～高梁川流域ライター塾～」を開催 https://www.city.kurashiki.okayama.jp/39346.htm● 倉敷市「令和4年度市民企画提案事業」で、「倉敷市民レポーター教室」を開催 https://www.city.kurashiki.okayama.jp/38644.htm● 「令和4年度笠岡市志縁型団体協働のまちづくり事業補助金」で、「笠岡市民レポーター教室」を開催」● 福武教育文化振興財団「2022年度教育文化活動助成」
他 NPO・市民活動団体との協働実績	<p>【2020年9月～】 岡山県立倉敷鷺羽高等学校・倉敷商業高等学校、私立金光学園高等学校など高校との協働による、地域情報の発信活動</p> <p>【2021年2月】 一般社団法人高梁川流域学校と協働し、高梁川流域ライター塾を開催 https://takahashigawa.or.jp/info/webwriter/</p>
企業・団体との協働実績	
行政との協働実績(委託事業など)	<ul style="list-style-type: none">● 倉敷市子ども相談センター2022年8月2日ヤングケアラーセミナーのオンライン配信サポート